

# 統合が進む中学校

米沢市では、「米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画」に沿って、中学校の統合を進めており、令和8年度には新しい2つの中学校が開校します。特集1では、それに先だって今年度統合した米沢市立第一中学校の様子について紹介します。



## 新しい一中のこと 教えてください

### 1. 統合に向けて行ったことは？

①統合2年前から各学年や指導部を中心に、細かいところまで調整を行いました。

学習の約束

生活のきまり

現2・3年生の交流活動

複数回行いました

各校務部の打ち合わせ

複数回行いました

- ②交流活動では、生徒同士の交流を図ると共に、学年全体の雰囲気や個々の様子などをお互いに把握することができました。また、クラス編成に向けた資料の共有化を図り、生徒理解のための場を早目に設けることで、年度初めから、共通認識の下で生徒と関わることができました。
- ③各校務部では、2つの学校の年間活動計画から令和7年度の計画案を作成したり、教材備品や消耗品等の確認後に旧五中から一中へ搬入する物の仕分けを行ったりするなどの準備を行いました。

### 2. 統合後の生徒の様子は？

- ①落ち着いて話を聞く姿、話し合い活動でお互いを思いやって、話したり聞いたりする姿が見られ、温かな雰囲気を感じます。
- ②生徒会で決めた『みんなでつくるみんながわかる授業』を意識して、先生や仲間と共に1つ1つの授業を大事に作っていきこうという姿勢が見られます。



### 3. 生徒同士の関わりは？

- ①年度初めは、まだ互いに打ち解けられない生徒も多かったものの、日を追うごとに、互いに関わり合う姿が増え、良い雰囲気で統合初年度を始めることができました。
- ②様々な活動では、協力し合うとともに互いを尊重し合う様子が見られました。特に修学旅行や体育祭、合唱祭などの大きな行事を通して、心の距離も縮まり、より一層落ち着いた生活を過ごしています。

### 4. 2つの学校のそれぞれの日課はどう変わったの？

- ①旧五中の日課を受け、1時間目の開始を5分早め、5時間目の開始を5分遅くすることで、昼休みの時間が10分増えるように日課を変更しました。生徒は、昼休みの時間に歯磨き、割り振りで体育館使用、読書、学習、委員会活動などに取り組んでいます。
- ②朝学習の時間を15分間設定しました。総合学力調査の復習プリントに取り組んだり、認知機能を高めるコグトレをタブレットで行ったりすることで、落ち着いた雰囲気で朝の時間を過ごしています。

### 5. スクールバスや通学は？

- ①旧五中地区の一部地域の生徒のために、スクールバスの運行が始まりました。その他の生徒は、通学距離に関係なく全員自転車登校を許可しました。
- ②毎朝のスクールバスの学校到着時間は8時に設定しました。放課後は帰りの会後すぐの便を第1便、部活動後などの便を第2便としました。学校の日課などの関係で、臨時で第1便と第2便の間に運行される便は中間便としました。
- ③生徒は登校時に、下校で乗車する便を記録用紙に記入し、担当教員が乗車人数を運行会社に毎日連絡をしています。急な日課変更で出発する時間に変更が生じた場合には学校連絡メールを配信し、保護者に時間変更の連絡を入れています。
- ④土曜日は学校に、8時到着で12時出発(第1便)と13時半到着で16時出発(第2便)の運行としました。土曜日の第2便は利用が少なく、運休になる場合もあります。



マイクロバス3台・赤崩乗合タクシー1台

### 6. 生徒会はどうしたの？

- ①執行部組織は、昨年度の選挙で各校生徒会役員を例年通り選出し、統合後はそれらを合わせた各役職2人体制(生徒会長2人、3年副会長4人など)で組織しました。
- ②生徒会スローガンは、前年度のうちに旧一中の執行委員で話し合って案を出し、統合後に旧五中の執行委員の意見も取り入れ、「みんなでつくる みんなの学校～自律・尊重・挑戦～」としました。



生徒会組織



生徒会スローガン作成

### 7. 一中と旧五中2つの地域とのつながりは？

- ①山上地区での花植え活動や、東部コミュニティセンターでの「おにいさんおねえさんと遊ぼう」の活動など、二つの学区で行っていた地域でのボランティア活動を継続して行いました。



### 8. 生徒からの相談や支援体制は？

- ①統合後の学級数の増加により、空き教室がなくなったため、旧PC室をパーティションで区切り、学習室としました。利用の仕方は生徒により様々ため、職員室のホワイトボードや担任とのやりとりファイルを活用して、登校時の予定や活動場所、活動内容の確認を行っています。
- ②一中で対応が可能な登校支援や学習支援の方法と、連携できる関係機関について「登校プラン」と「学習プラン」としてそれぞれ作成し、活用できるようにしています。
- ③5月と11月に教育相談期間を設け、個々の問題にきめ細かく対応し、不適應の予防や生徒の状況の把握に努め、適切な支援を探りながら相談を行っています。



特別室利用状況		月 日	
AM	お昼	PM	放課後

### 9. 来年度に向けた課題や検討事項は？

- ①バス通学(生徒の活動時間の確保、長期休業中のバス時間の設定、熊出没時の対応)
- ②行事(体育祭や合唱祭などの実施時期や内容、当日の日程の設定)
- ③避難訓練(生徒数増加で避難に時間がかかるようになったことの解消、避難方法)